

九州戦国史

島津・大友・龍造寺、"三つ巴"の講演会が佐賀で実現！

龍造寺隆幸を

講演会／市民シンポジウム

再検討する

沖田畷の戦いから440年



講師

島津氏研究

新名 一仁

龍造寺氏研究

中村 知裕

大友氏研究

山上 至人

ゲスト

防衛省防衛研究所
会津龍造寺家末裔

橋本 靖明

宇宙公務員

(佐賀県庁・JAXA)

『県庁そろそろ
クビですか?』 著者

円城寺雄介

他

日時

令和6年 6月2日(日) 10:30~16:00
(昼休含め、複数回休憩あり)

会場

佐賀大学 (佐賀市本庄町1)
教養教育2号館 1F 2101教室

参加費

一般 2,000円

定員

140名

完全予約制

裏面の「受付方法」を
ご覧下さい

もうひとりの佐賀藩祖 龍造寺隆信

今年2024年は、佐賀の戦国大名・龍造寺隆信没後440年の節目です。

小豪族から戦国大名へと成長を遂げた彼の事跡や特徴について、九州各地から歴史研究者をお招きし「島津、龍造寺、大友」という外部の視点も交え俯瞰的かつ多角的に検討します。

3名の先生方の講演後、ゲストを交えた市民シンポジウムを行います。

戦国大名・龍造寺氏の本拠地「龍造寺村・水ヶ江」が政治経済の中心地となって以来、現在の佐賀県庁所在地へと連続している事は市民間でもあまり認知されていません。賛否ある龍造寺隆信の事績を学び、市民や研究者・歴史ファンと共に、佐賀大学を会場として再検討します。

「九州戦国史、島津・大友・龍造寺」を一気に学べる、貴重な一日となります！

大友氏研究

〈演題〉

「大友氏と永祿九州争乱」 山上至人

やまがみみちひと

早稲田大学教育学部社会学科地理歴史専修卒業。早稲田大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程修了。歴史雑誌「歴史群像」編集者兼ライター。南蛮B・V・N・G・O交流館（大分市）勤務。執筆実績に「豊前中津城」（2014年）、「九州の関ヶ原・石垣原合戦」（2014年）、「亀井琉球守茲矩」（2018年）、「戦国大名 大内氏の滅亡」（2020年）、「戦国大名 尼子氏の滅亡」（2021年）、「戦国大名 大友氏の滅亡」（2022年）、「関門海峡攻防戦 毛利元就の幕開け」（2023年）など多数。編集者としては「龍造寺領国存続の試練 鍋島父子の関ヶ原中西家」（歴史群像）第132号、2015年、も手掛けた。軍事学の知識に裏付けられた精緻な記事に定評があり、出身地である大分県の戦国期大友氏関連の研究記事は特に充実している。

龍造寺氏研究

〈演題〉

「龍造寺隆信の実像」 中村知裕

なかむらともひろ

福岡大学大学院人文科学研究科史学専攻 満期退学。博士（文学、福岡大学大学院）。筑紫女学園中学校・高等学校教諭。論文に「中世における河川流域の軍事活動と水上交通 筑後地域を中心として」（『七隈史学』第5号、2004年）、「中世有明海における港津と水上交通」（『財団法人鍋島報効会助成研究報告書』第1号、2004年）、「龍造寺氏の軍事活動と山林資源の調達」（『七隈史学』第12号、2010年）、「龍造寺氏の肥前西部侵攻と龍造寺長信」（『古文書研究』第83号、2017年）、「藤籠家譜」所収文書について」（『佐賀大学地域学歴史文化研究センター』研究紀要第14号、2019年）、「龍造寺氏の勢力拡大とその実態 五州一島論再考」（『財団法人鍋島報効会助成研究報告書』第9号、2019年）、「水禄 天正期九州の争乱と秋月種実」（『古文書研究』第95号、2023年）などがあり、著書に「戦国期の交通と権力」（高志書院、2023年）、「龍造寺隆信 政治家 鍋島直茂」（筑紫広門）（『戦国武将列伝』九州編）戎光祥出版、2023年）がある。

島津氏研究

〈演題〉

「島津氏と龍造寺氏 幻の反大友同盟」 新名一仁

にいなかすひと

鹿児島大学法文学部人文科学卒業。広島大学大学院博士課程前期修了。同博士課程後期単位取得退学。博士（文学、東北大学）。現職は南九州大学非常勤講師。著書に「日向国山東南部の攻防」（飯師社、2014年）、「室町期島津氏領国の政治構造」（戎光祥出版、2015年）、「島津貴久」（戎光祥出版、2017年）、「島津四兄弟の九州統一戦」（星海社新書、2017年）、「不屈の両殿 島津義久・義弘」（角川新書、2021年）、「現代語訳 上井寛兼日記」（1）（2）（3）（ヒムカ出版、2020）、「2023年、編著に「戦国武将列伝 11 九州編」（戎光祥出版、2023年）、「図説 中世島津氏」（戎光祥出版、2023年）などがある。2022年7月には佐賀城本丸歴史館にて「戦国島津氏の九州北部進出と龍造寺氏」と題した講演を行った。

聴講予約受付WEBフォーム

◆早期予約用フォーム

「キャンセル不可、前払い制」
確実に席が取れます。且つ、速やかに着席できます。



◆通常予約用フォーム

「当日会場のカウンターでの、参加費払い方式」
早期予約人数を除いた先着順です。定員に達したら締切ります。



WEBの入力が難しい方は、

メールの場合 メール:sagasengoku@live.jp
「お名前、TEL、予約希望」の旨メールをお願いします。

電話の場合 電話:080-5242-4015
留守電へ伝言をお願いします。後で折り返します。

4 質の高い教育をみんなに



佐賀戦国研究会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

